

経験者採用試験 論文試験課題

1 一般事務職 A・B、警察事務職 A・B、教育事務職 A・B

阪神・淡路大震災から 25 年、本県は新しい地域づくりのステージを迎えています。

こうした中、新型コロナウイルスが世界的に流行し、日本も感染拡大防止をはじめ様々な対策に官民を挙げて懸命に取り組んでいますが、未だ収束の兆しは見えません。

この未曾有の事態は、働き方、住まい、教育、文化活動など私たちの社会のさまざまな分野についての多くの課題を浮き彫りにしました。私たちは今後、コロナ収束後の様々な活動のあり方を見直さなければなりません。

そこで、コロナ禍により浮き彫りとなった課題を述べるとともに、その課題を解決するために、今後、兵庫県としてどのような取組が必要か、あなたの考えを述べなさい。

2 農学職 A・B

- (1) 農家の減少や高齢化が進行する中、本県の新規就農者は、平成 27 年度の 311 名/年をピークに減少を続けており、近年では、他産業との人材の引き合い等もあり、令和元年度は 243 名/年まで低下しています。

本県農業を維持していくうえで、新規就農者の確保は、引き続き重要な課題ですが、就農希望者や農業に関心をもつ人達に効果的に情報を伝達し、より多くの就農へとつなげていくためには、県としてどのような取組が必要か、あなたの考えを述べなさい。

- (2) 本県の農業算出額（平成 30 年度）は 1,544 億円で、そのうち畜産の産出額は 604 億円で 39.1%を占め、本県農業の主要部門となっています。また、近畿の畜産算出額のうち約 6 割を占め、京阪神都市圏における畜産物供給基地として重要な役割を担っています。こうした中、新型コロナウイルス感染症による需要減少など、本県畜産物を巡る状況は厳しいものがあり、今後も国内外でのブランド力の強化が必要となっています。

そこで、肉用牛、酪農のどちらかを選択し、本県畜産物の販売力強化や 6 次産業化の取組など、ブランド力を高めるために必要な課題を挙げたうえで、これを解決するための具体的な方策について、あなたの考えを述べなさい。

- ((1)、(2) の課題から 1 題を選択)

3 林学職 A・B

- (1) 林野庁では、平成 30 (2018) 年 6 月に閣議決定された「未来投資戦略 2018」に基づき、林業の成長産業化と未来の適切な経営管理の実現を図るため、林業の生産性向上を通じた収益性の向上を重要な政策的課題のひとつとして位置づけています。

そこで、現在の兵庫県（もしくは日本）の森林資源の現況や林業・木材産業の動向を踏まえたうえで、林業の収益性の向上を図るための方策について、基盤整備の推進と林業経営体や林業従事者の育成の視点から、あなたの考えを述べなさい。

- (2) 兵庫県の森林は、地形が急峻かつ地質がぜい弱であることに加え、近年、前線や台風に伴う豪雨や地震等の自然現象が多発し、毎年、各地で多くの山地災害が発生しています。内閣府が令和元 (2019) 年に実施した「森林と生活に関する世論調査」では、森林に期待する役割として「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」に最も高い関心が寄せられています。

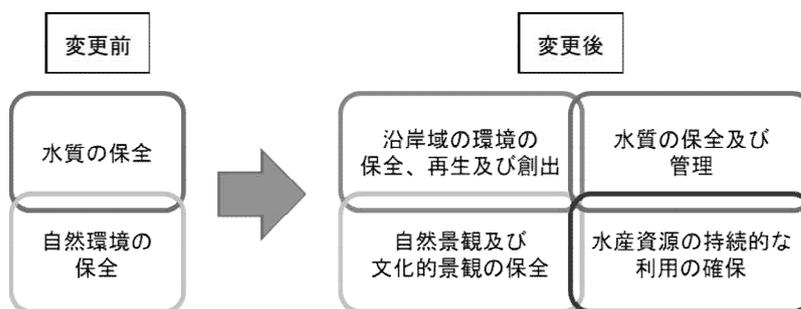
そこで、山地災害が多発化することによってもたらされる課題を述べるとともに、その課題を解決するために、今後、兵庫県としてどのような方策が必要か、あなたの考えを述べなさい。

((1)、(2) の課題から 1 題を選択)

4 環境科学職 A・B

- (1) 平成 27 (2015) 年に国において瀬戸内海環境保全基本計画が変更され、「沿岸域の環境の保全、再生及び創出」等について下図のとおり定められました。これに基づき本県は、平成 28 (2016) 年に瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生するため実施すべき施策について、「瀬戸内海の環境の保全に関する兵庫県計画」を定めました。

これらの計画の策定に至る経緯を踏まえ、過去からの法規制等を説明し、現在の本県の瀬戸内海域での課題を列挙し、その課題を解決するために県としてどのような取組が必要か、幅広い観点からあなたの考えを述べなさい。



- (2) 近年、漂着ごみ等による環境・景観の悪化、海洋生物への影響、船舶航行の妨げ等が懸念されており、県ではこれらの問題を改善するため、今年 2 月に「兵庫県（瀬戸内海・日本海）沿岸海岸漂着物・漂流ごみ等対策推進地域計画」を改定しました。

漂流ごみ等を削減するための課題を「回収・処理」「発生抑制」「普及啓発」についてそれぞれあげ、それらを解決するための具体的な取組についてあなたの考えを述べなさい。

- (3) 再生可能エネルギーは、温室効果ガス排出削減効果はもとより、地域の自立的なエネルギー確保や地域資源の有効活用の観点からも導入を拡大すべきであることから、兵庫県では「兵庫県地球温暖化対策推進計画（平成 29 (2017) 年 3 月策定）」を策定し、2020 年度に 50 億 kWh、2030 年度に 70 億 kWh を再生可能エネルギーで発電する目標を掲げています。2019 年度の年間発電量は約 42 億 kWh となっています。

そこで、今後、さらに太陽光発電、風力、小水力、バイオマス等の再生可能エネルギーの導入を進めるにあたっての課題をあげ、それらを解決するためのあなたの考えを述べなさい。

((1)、(2)、(3) の課題から 1 題を選択)

5 総合土木職 A・B

- (1) 全国的に自然災害が頻発化・激甚化する中、兵庫県においても、防災・減災、国土強靱化の取り組みが急務となっています。そこで、「洪水」、「土砂災害」、「高潮」、「津波」のそれぞれについて有効な防災・減災対策をハード・ソフトの両面から述べなさい。また、それらの取組みを効率的かつ効果的に推進するために、今後、技術系公務員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを述べなさい。
- (2) 食料生産に不可欠な基幹的農業水利施設（井堰、ゲート、用排水機場、水路等）は、戦後、高度成長期を経て建設されたものが多く、老朽化の進行に伴い突発事故（災害以外の原因による施設の機能損失）は増加傾向にあります。農業水利施設の管理は、農家の賦課金と賦役で担われていますが、農家の高齢化や農家数の減少により、施設の保全管理への影響が懸念されています。このような現状を踏まえ、農業水利施設の老朽化対策についてどのように取り組むべきか、あなた自身の考えを具体的に記述しなさい。
- (3) 気温の上昇や大雨の頻度の増加などの気候変動への対応、グローバル社会における国際競争の激化や ESG 投資※の広がりなどの経済状況への対応、人口減少・少子高齢化への対応に加え、自然と共生する社会の実現及び地域の環境・社会・経済の基盤の維持への取り組みとして、グリーンインフラが求められています。そこで、グリーンインフラの概要（考え方や特徴など）や活用事例について、具体的に述べなさい。

※ ESG 投資：環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）に関する要素を考慮した投資

（（1）～（3）の課題から1題を選択）

6 建築職 A・B

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、在宅勤務が求められテレワークの導入など働き方に変化が起きています。こうした働き方の変化は、住まい方だけでなく、時間の使い方、場所の使い方など様々な面にも影響を及ぼしつつあります。

そこで、こうした状況におけるまちづくりの課題を考察し、その課題を解決するために今後県が進めるべきまちづくりや住まいづくりのあり方について、あなたの考えを述べなさい。

- (2) 平成 30 年の西日本豪雨、昨年の九州北部等での豪雨、本年 7 月の熊本県や中部地方での豪雨など、近年大規模な自然災害が頻繁に発生し甚大な被害が生じています。また南海トラフ巨大地震は、今後 30 年以内に高い確率で発生すると予測されています。

そこで、こうした自然災害に対するまちづくりの課題を考察し、被害を最小限に抑えるために今後県が進めるべきまちづくりや住まいづくりのあり方について、あなたの考えを述べなさい。

- (3) 本年 7 月に全国でレジ袋有料化が始まるなど、海洋プラスチックごみ問題や資源制約、地球温暖化といった様々な環境問題に対する意識が高まっています。建築分野においても省エネルギー化や自然エネルギー活用などの取り組みが進められています。

そこで、今後の建築物の設計や施工で、環境対策として考えられる方策について、あなたの考えを述べなさい。

((1)～(3)の課題から1題を選択)

7 機械職 A・B

- (1) 温室効果ガスの排出を抑制するため、建築分野でも、①省エネルギー化、②再生可能エネルギーの利用、③廃棄物の発生抑制・環境への配慮などの様々な対策が進んでいる。

そこで、上記の三つの事項について、建築設備の設計や施工における対策を述べるとともに、その技術をどのように県有施設の整備へ反映させたいか、あなたの考えを述べなさい。

- (2) 少子高齢化や情報化の進展、環境意識や就労スタイルの変化等が、県民の暮らしや価値観に様々な影響を及ぼし、ライフスタイルは多様化・多面化している。

そこで、エンドユーザーの多様性に配慮した普及製品とその特徴について述べるとともに、その製品技術をどのように県有施設の整備へ反映させたいか、あなたの考えを述べなさい。

- (3) 高度経済成長期などに集中整備した社会資本ストックに対する老朽化対策が急務となっている。

そこで、老朽化対策に効果的な設備保全や保守メンテナンスについて述べるとともに、その技術をどのように県有施設の保全・保守へ反映させたいか、あなたの考えを述べなさい。

((1) ~ (3) の課題から1題を選択)

経験者採用試験 論文試験課題

8 電気職 A・B

- (1) 温室効果ガスの排出を抑制するため、建築分野でも、①省エネルギー化、②再生可能エネルギーの利用、③廃棄物の発生抑制・環境への配慮などの様々な対策が進んでいる。

そこで、上記の三つの事項について、建築設備の設計や施工における対策を述べるとともに、その技術をどのように県有施設の整備へ反映させたいか、あなたの考えを述べなさい。

- (2) 少子高齢化や情報化の進展、環境意識や就労スタイルの変化等が、県民の暮らしや価値観に様々な影響を及ぼし、ライフスタイルは多様化・多面化している。

そこで、エンドユーザーの多様性に配慮した普及製品とその特徴について述べるとともに、その製品技術をどのように県有施設の整備へ反映させたいか、あなたの考えを述べなさい。

- (3) 高度経済成長期などに集中整備した社会資本ストックに対する老朽化対策が急務となっている。

そこで、老朽化対策に効果的な設備保全や保守メンテナンスについて述べるとともに、その技術をどのように県有施設の保全・保守へ反映させたいか、あなたの考えを述べなさい。

((1) ~ (3) の課題から1題を選択)